

東つよしの 奔西走



東市議は昨年12月の質問で国保料の引き下げを求めましたが、市長は「値上げはやむを得



障害者の65歳問題が一步改善!

「障害者65歳問題」というものがあります。障害者が65歳になると介護保険を押し付けられ、多くの方がサービス減と負担増になるのです。特に岡山市では「要介護5」でないと、

国保引き下げ署名提出

岡山市社会保障推進協議会は2月3日、高すぎる国保料の引き下げを求める署名二万四千四五筆を岡山市に提出しました。保健福祉局長は「みなさんの思いをしっかりと受け止めます」と応じました。

身体介護や見守りが必要でも、介護保険の枠以上のサービスは全額自費負担になるのです。この「要介護5」の条件について岡山市は2月から「これまでの運用を見直し、障害の程度、要介護度、サービスの



ない」と答弁しています。署名はまだ集めます。たくさん集めて市民の声を示しましょう。

必要などを見て、一人一人に応じた対応をする」と表明しました。日本一厳しかった条件を緩和できました。東市議は65歳問題について質問を積み重ねてきました。市民運動と結んでかちとった前進です。1月28日は「浅田裁判」第8回口頭弁論でした。65

歳障害者が介護保険を申請しなかったことを理由に、障害者サービスを全て停止した岡山市を訴えている裁判です。市が命を守る気があるのか問われています。東市議はアピール行動に加わり（写真）、傍聴しました。
ひきつづき障害者施策の改善に力をつくします。

つよしの

菊水流剣舞のコンクールで初級一般の部で元田東野作「中庸」を舞い、優勝しました。四年連続なのでうれしいです。また初伝がとれることにもなりました。柔道で言えば黒帯というところでしょうか。「初心者」は卒業が近づいています。が、初心を忘れずに芸を磨きます。もちろん議員活動も初心を新たに引き続きがんばります。(東つよし)